

第 2 9 回議会報告会 報告書

彦根市議会議長 安藤 博 様

広聴委員会 小菅 雅至

開催日時	平成31年 2月17日（日）午後2時30分～午後4時
開催場所	ビバシティ彦根 研修室1・2
出席議員	議 員 氏 名（ 役 割 ） 辻 真理子 委員長 （開会挨拶） 野村 博雄 副委員長（総合司会、諸説明、閉会挨拶） 谷口 典隆 （カフェホスト） 安居 正倫 （テーマ①テーブル担当、受付） 山田 多津子（テーマ②テーブル担当） 小菅 雅至 （テーマ③テーブル担当、事後報告書作成） 獅山 向洋 （テーマ④テーブル担当、受付） 安藤 博 （テーマ⑤テーブル担当）
参加者数	一般参加者 31 名、見学 4 名 議員 8 名、議会事務局職員 2 名
内 容 （内容及び時間 配分）	14：30 開会挨拶、諸説明、ワールドカフェ説明 14：45 「第1ラウンド」 各テーブル内で自己紹介、各委員より各テーマの説明、対話 テーブル間移動 15：15 「第2ラウンド」 第1ラウンドについて、各委員より各テーマの説明、対話 15：45 「全体セッション」 各委員・参加者は他のテーブルの模造紙に書かれた内容を見て 回る等 16：00 閉会挨拶 辻副委員長・アンケート記入、終了

主な話し合いの内容	5つのテーマを設定し、テーブルにわかれて、ワールド・カフェ形式で実施しました。 【個別テーマ】 ① 100歳まで元気であるために ～100歳まで生き生きと元気であるためにどうすればいいか～ ② 子育てをしやすい環境は ～より良い子育て環境や学力向上のためにはどうすればいいか～ ③ 高齢者が動きやすいまちにするために ～高齢者が移動しやすく住みよいまちにするためにはどうすればいいか～ ④ 彦根のいいところは何？ ～どのようにして発信すればいいか～ ⑤ 彦根の観光戦略について ～インバウンド誘客～ テーマ① 100歳まで元気であるために 平成30年度の主な取組と予算 ●老人クラブ活動助成事業（604万円） ●老人福祉月間事業（58万円） 問題提起 ・地域に貢献しながら、自ら生きがいを楽しみ、健康で楽しく元気な環境で100歳を迎えることが重要。 ・元気で長生きするために、高齢者に対する教育（100歳大学）が必要。 ・真に高齢者がやりたいことを実現するための老人クラブが必要。 ・旧来の老人クラブの目的に拘束されず、「カラオケクラブ」や「麻雀クラブ」などの趣味や遊びのクラブが求められる。 意見 ・食生活の充実。 ・運動をする。 ・脚力を維持する。 ・歩けることが大事。 ・お金、貯金。 ・太陽を浴びて森林浴をする。 ・定年制の延長。 ・家のなかにとじこもらない。 ・高齢者に運動場を用意する。 ・年金問題が不安である。 ・旅行など思ったときに行動する。
------------------	---

テーマ②

子育てしやすい環境は

平成 30 年度の主な取組と予算

- 子どもの福祉医療費助成事業（３億３４５万円）
- 放課後児童クラブ運営事業（３億３，８０７万円）
- 幼稚園預かり広場事業（４３２万円）

問題提起

- ・近隣市町では中学校卒業まで通院費も含め無料化にとりくまれている。対象年齢の引き上げに、どう取り組んでいくのか。
- ・対象者が年々増加するなか、施設整備と指導員の確保が困難である。業務委託方法や雇用条件などの課題も見受けられる。
- ・利用時間の拡大に伴い、ニーズにこたえられる保育者の確保が課題になってくる。

意見

- ・図書館を新しくする。
- ・医療費無料の拡大。
- ・公園を多くしてほしい。
- ・学校を新しくしてほしい。

テーマ③

高齢者が動きやすいまちにするために

平成 30 年度の主な取組と予算

- 路線バス対策事業（１億４９０万円）
- 公共交通活性化事業（３，３１４万円）
- 交通安全推進事業（４４７万円）

問題提起

- ・路線バスの運転手が不足している。バスの利用者は増加しているにもかかわらず、平成 31 年 4 月から市内で 2 路線が廃止される。
- ・路線バスや愛のりタクシーの時刻表が分かりにくい。複雑な路線や系統を読み解くには、慣れが必要。

意見

- ・買物難民に対して対策をする。
- ・登録制で病院・スーパーなどへの交通手段を確保する。
- ・バスの運転手をひろく募集する。
- ・どこでも止まってくれるバスの運行。
- ・スマホでいつでも利用可能にする。

テーマ④

彦根のいいところは何？

平成 30 年度の主な取組と予算

- 彦根市の都市ランキングなどの現状
- 彦根市のシティプロモーション推進事業（1703万円）

問題提起

- ・彦根市の地理的・社会的な長所短所を考える。
- ・各種ランキングから彦根市の現在の都市像を認識し対応すべき諸問題を考える。
- ・彦根市の良さをプロモーションする方法を考える。

意見

- ・南海トラフ地震がおきたときの滋賀の被害が全国的にみて小さい。
- ・駅の東はショッピングモールなどが建ち並び、西は歴史的な文化財が多数存在している。
- ・彦根は風水害につよい。
- ・名神彦根から1時間以内に物流の拠点となっている。

テーマ⑤

彦根の観光戦略について～インバウンド誘客～

平成 30 年度の主な取組と予算

- インバウンド推進事業（1,085万円）

問題提起

- ・外国人観光客を彦根に誘客するためのインフラ整備が必要
- ・京都・名古屋を越えて彦根に誘客するための彦根の魅力発信方法は何か

意見

- ・彦根城の裏ガイドを作成する。
- ・パーク&バスライドの充実。
- ・ネットの力をもっと信じる。
- ・インフラ整備を充実させる。
- ・彦根市のホームページを開くと観光のアプリにすぐ到達すべき。
- ・広報にアプリをダウンロードする。
- ・インスタ映えする場所をつくる。